

第1学年道徳学習指導案

日 時 平成21年10月9日(金) 5校時
児 童 1年 男子4名 女子6名 計10名
指導者 向井 亜由美

- 1 主題名 じぶんのためにがんばろう【1-(2) 勤勉・努力】
- 2 資料名 はたらけ せっせ(出典 みんなのどうとく 1年 学研)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章、道徳の第1学年及び第2学年の内容の1「主として自分自身に関すること」の(2)に、「自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。」とある。勤勉に、くじけずに努力し、自分を向上させる児童を育てようとする内容項目である。

この時期の児童は、物事に対する興味・関心、好奇心が旺盛である。「がんばろう」「よくなりたい」「自分がやりたい」といった期待と意欲、向上心をもっている。しかし、同じことの繰り返しや地道な努力、顕著な成果が得られないものに対しては、すぐに飽きてしまい、努力を放棄したり、大人を頼ったりする傾向にある。人がよりよく生きていくためには、忍耐や困難に打ち勝つ強い意志をもつことが必要である。そこで、責任を果たし成就感をもつて生きていくために、自分がやらなければならないことはくじけずにやり通そうとする心情を深めていきたい。

(2) 児童について

本学級の児童は学校生活にも慣れ、身の回りのこともしっかりと自分でできるようになってきた。給食・清掃・係活動等様々な活動も意欲的に行っている。また、音読カードやがんばりカードも継続して取り組むなど、自分がやらなくてはならないことをしっかり行おうとする気持ちをもっている。しかし、困難に直面するとすぐにあきらめて投げ出したり、友達や先生に助けをもらおうとしたりして、最後までやり遂げられない児童も見られる。

授業中の発表は、自分の考えを恥ずかしがらずに言うことができている。今後は、友達の考えを聞いて自分はどう思うかを発表できるように育てていきたい。

(3) 資料について

本資料は、イソップ童話「ありときりぎりす」を再構成したものである。夏の暑いときにせっせと働くありたちと、楽しく歌って遊んでいるきりぎりすを対比させながら、冬に備えて働き続けるありたちの姿を描いている。きりぎりすをうらやましいと思い、くじけそうになりながらもせっせと働くありたちの姿を通して、やらなければならないことはくじけずにやり通そうとする心情を育てていくのに適した資料である。

(4) 他の教育活動との関連

低学年の段階では、自分のやるべき仕事や勉強をしっかりと行うことが大切である。そこで、日常の仕事をしっかりとやっているところを見逃さず、帰りの会の「今日のがんばり賞」の中で紹介するなどして児童の今後の生活に意欲を持たせたい。また、頑張りカードで自分の生活を振り返るなどして、日ごろの頑張りを称賛していく。

4 本時の指導

(1) 目標

自分がやらなければならないことは、くじけずにやり通そうとする心情を深める。

(2) 本時の指導の構想について

導入段階では、ありのペープサートを見せ、ありについて知っていることを自由に発表させることで、資料への方向付けを図る。

展開段階では、まず、暑い夏の日にきりぎりすに誘惑されながらも、しっかり働こうとするありたちの姿をとらえさせる。そして、秋に再度遊びに誘われる場面では、「そうだな、ちょっとあそぼうか。」と言ったありたちの言葉から、誘惑に負けそうになるありたちの気持ちに深く共感させていきたい。さらに、冬にありたちが暖かい部屋でゆっくり過ごしている場面では、書く活動と意図的交流の場を設定し、きりぎりすの様子やありたちの行動について考えさせることで、自分がやらなければならないことは、くじけずにやり通すことの大切さに気づかせたい。展開の最後には、自分が頑張っていて発表させること、自分の頑張りを振りかえらせる。

終末段階では、今まで頑張ってきた自分の姿を映像を通して見せることで、児童に「今まで頑張ってきてよかったな」という満足感をもたせ、「これからも頑張っていきたい」という今後の生活への意欲付けを図っていきたい。

(3) 展開

段階	学習活動と主な発問（主発問◎）	予想される反応	評価（□）留意・支援（☆）
導入 5分	1 ありのペープサートを見せながら、楽しい雰囲気の中で資料に入る。 ○ありについて知ってることはなんですか。	<ul style="list-style-type: none"> えさを巢に運ぶ。 列になって歩く。 えさを巢にためる。 	☆ありについて知っていることを自由に発表させることで、資料への方向付けをする。
展開	2 資料「はたらけ せっせ」を読み、ありの気持ちを中心に話し合う。 ○きりぎりすに「ぼくとうたをうたわないか。たのしいよ。」と誘われたとき、ありはどんな気持ちになりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> どうしよう…歌おうかな。 暑いから休みたい。 ちょっとだけ歌おうかな。 忙しいから歌えない。 食べ物を運ぶのは大切だからだめだよ。 	☆ペープサートにより資料提示をする。 ☆暑くてくじけそうになるであろうありたちの弱い気持ちに触れながら、きりぎりすの誘惑に負けなくてせっせと働く姿に共感させる。

<p>35分</p>	<p>○秋になり、きりぎりすにまた「いっしょに歌って遊ぼう。」と言われたありたちはどんな気持ちでしょう。</p> <p>◎冬になって、ありたちは、あたたかい部屋の中で「あのきりぎりすさん、いまごろどうしているかなあ。」と話しています。続きをワークシートに書きましよう。</p> <p>3 自分が頑張っていることを発表する。 ○大変だなあと思っても、頑張っていることはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしよう…。 ・ 食べ物もたくさんだし、少しくらい歌おうかな。 ・ 一緒に遊びたいな。 ・ 食べ物があるうちにもっと運んでおこう。 ・ きりぎりすさんは食べ物があるのかな。 ・ おなかですいてこまってるかも…。 ・ ぼくたちは春までゆっくりできるね。 ・ 食べ物がいっぱいあるから大丈夫。 ・ きりぎりすさんも働いていればよかったのに…。 ・ 夏の暑い日も働いていてよかった。 ・ 係の仕事を頑張っている。 ・ 音読を毎日やっている。 ・ 家の手伝いをがんばっている。 	<p>☆「そうだな。ちょっとあそぼうか。」と言ったありたちの言葉から、誘惑に負けそうになるありたちの気持ちに共感させる。</p> <p>☆書く活動を通して、ありたちが、遊んでいたきりぎりすを心配する姿をとらえさせたい。また、自分がやらなければならないことをくじけずに最後までやり通したありたちの行動のよさにも気づかせたい。</p> <p>☆書いた内容を発表する場面に、意図的交流の場を設け、価値を深めさせる。 【自分に置きかえての意見交流】</p> <p>□ありの気持ちになって自分の考えを発表できたか。</p> <p>☆子ども達から出にくいときは、頑張りカードの取り組みを思い出させるなどの工夫をする。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 自分が頑張っている姿を映像で見る。 ○みんなが頑張っている姿をみてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ うれしい。 ・ これからも頑張りたい。 ・ みんな頑張っていてすごい。 	<p>☆今まで頑張ってきた自分の姿を見ることで、今後の生活への意欲付けを図りたい。</p>

(4) 評価

自分がやらなければならないことは、くじけずにやり通そうとする心情が深まったか。

5 板書計画



なつ 「ほくとうたをうたわなうか。たのしいね」

- ・うたおうかな
- ・あついからやすみたい

あき 「いまはたべものがたくさんあるから
あんしんじゃないか。うたってあそぼうね」

- ・つかれたから あそびたいな
- ・どっしょう

ふゆ たべものがあるうちは
ほこんでおじう。

はたらけ せつせ



- ・きりぎりすさん、たべものあるのかな。
- ・おなかがすいて こまっているかも。
- ・はたらけば よかったのね…
- ・ほくたちは はるまでゆっくり
- ・なつも はたらいて よかった
- ・がんばって はたらいて よかった
- ・これからも きちんと はたらくぞ



6 資料分析

資料名 はたらけ せっせ (出典 みんなのどうとく 1年 学研)

ねらい 自分がやらなければならないことは、くじけずにやり通そうとする心情を深める。

場面	暑い夏の日、きりぎりすの誘惑に負けず、せっせと働くありたち。	秋になり、きりぎりすの誘惑に負けそうになるが、またせっせと働くありたち。	冬になって、ゆっくり過ごしながらか、きりぎりすのことを考えるありたち。
主人公の意識構造	<p style="text-align: center;">根気・努力 (実線) 怠惰 (点線)</p> <p>○暑い中、冬を過ごすために、目の誘惑に負けず、せっせと食べ物を運んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">勤勉・努力 (実線)</p> <p style="text-align: center;">意欲・努力・根気 (実線) 怠惰 (点線)</p> <p>○きりぎりすの誘惑に心が揺れるが、1びきのありの言葉に、心を改め再び働きだす。</p>	<p style="text-align: center;">勤勉・努力 (実線)</p> <p style="text-align: center;">充実感・安堵感 (実線) 心配 (実線)</p> <p>◎冬を安心して過ごしている中で、遊んで過ごしていたきりぎりすが心配なる。</p>
発問	○きりぎりすに「ぼくとうたをうたわないか。たのしいよ。」と誘われたとき、ありたちはどんな気持ちになりましたか。	○秋になり、またきりぎりすに「いっしょに歌って遊ぼう。」と言われたありたちはどんな気持ちでしょう。	◎冬になって、ありたちはあたたかい部屋の中で「あのきりぎりすさん、いまごろどうしているかなあ。」と話しています。続きをワークシートに書きましょう。
児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしよう…歌おうかな。 ・ 暑いから休みたい。 ・ ちょっとだけ歌おうかな。 ・ 忙しいから歌えない。 ・ 食べ物を運ぶのは大切だからだめだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしよう…。 ・ 食べ物もたくさんだし ・ 少しくらい歌おうかな。 ・ いっしょに遊びたいな。 ・ 食べ物があるうちにもっと運んでおこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きりぎりすさんは、食べ物があるのかな。 ・ おなかがすいてこまっているかも…。 ・ ぼくたちは春までゆっくりできるね。 ・ 食べ物がいっぱいあるからだいじょうぶ。 ・ きりぎりすさんも働いていればよかったのに。 ・ 夏の暑い日にも働いていてよかった。

